

第七十二回
帝國議會
貴族院

軍機保護法改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

軍機保護法改正法律案

兵役法中改正法律案

委員氏名

委員長 伯爵溝口 直亮君
副委員長 男爵淺田 良逸君
公爵鷹司 信輔君
公爵島津 忠承君
子爵立花 種忠君
子爵谷 儀一君
子爵井上 勝純君
織田 萬君
三井清一郎君
内田 重成君
男爵渡邊 汀君
男爵園田 武彦君
丸山 鶴吉君
大塚 惟精君
松本 眞平君
光永 星郎君
金成 通君
水野甚次郎君

昭和十二年七月二十九日(木曜日)午前十時十七分開會
○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ是ヨ

リ委員會ヲ開催致シマス、本議案兩案共前議會ニ提出サレマシタ通りデ、委員ノ大部分ハ前議會ト同ジ御方ガ御出ニナッテイラシヤイマス、政府ノ説明ハ略シタイト存ジマスガ御差支ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵溝口直亮君) デハ其ノ通りニ致シマス、直チニ質疑ニ入りマス、御質疑ノ方ハドウゾ……

○内田重成君 丁度陸軍ノ政府委員御出席ニナッテ居リマスカラ、私ハ本案ノ内容ノ問題デハアリマセスガ、本案ト關係アル他ノ法規ニ付テ先ヅ伺ヒタイト考ヘマス、御承知ノ戒嚴令トハ相當重大ナ關係ヲ有ッテ居リマス、デ此ノ戒嚴ニ關スル法規ハ明治十八年ノ太政官布告デ出來テ居リマシテ、其ノ後多少ノ修正ハアッタノデアリマスルガ、今以テ頗ル古色蒼然タル法律ガ其ノ儘ニ相成ッテ居リマス、殆ド最古ノ法律ト申シテ宜シイノデアリマス、此ノ戒嚴令ノ改正ト云フコトニ付テハ從來屢々考究ヲサレタヤウデアリマスルガ、其ノ關係スル處ガ頗ル廣汎デアル爲ニ、未ダ其ノ儘ニ相成ッテ居ッテ、今日其ノ戒嚴令ノ適用ト云フ段ニナ

リマスルト、頗ル其ノ解釋等ニ付キマシテハ迷フ點ガ多數ニアルヤウニ考ヘルノデアリマス、此ノ軍機保護法モ隨分古イ法律デアッテ、長イ間此ノ改正ト云フコトニ付キマシテハ考究モサレテ居リマシタガ、漸クニシテ此ノ法案ガ提出サル、ヤウニ相成リマシタ、既ニ其ノ遲キヲ遺憾トスルノデアリマスルガ、是ト併セテ重要ナ關係ヲ有ツ今ノ戒嚴令及軍ノ刑法等ニ付キマシテモ、相當配合セラ爲サネバナラス點ガアルデアラウト思フノデアリマス、軍刑法ニ付キマシテモ普通刑法ト相竝ンデ當時改正ニ著手サレテ居ルト云フコトヲ承ッテ居ル、デ其ノ改正著手後既ニ十年以上ニ相成ルダラウト思フノデアリマス、今以テ普通刑法トノ配合ヒ上ノ關係カラ其ノ儘ニ相成ッテ居ッテ完成ニ至ラナイヤウデアリマスガ、先ヅ此ノ戒嚴令ニ付キマシテ政府ハ此ノ改正ニ著手ラスル、又ハ改正ヲ企テルト云フ御意圖ガアリヤナシヤ、又陸軍ニ於キマシテノ軍事刑法ノ改正ニ關スル調査ノ進展ノ程度ガ如何ナル程度ニ相成ッテ居リマスルカ、先ヅ此ノ二點ヲ最初ニ伺ヒタイト考ヘマス

○國務大臣(杉山元君) 只今ノ御尋ニ對シマシテ御答ヘ申上ゲマス、戒嚴令ニ付キマシテハ慎重ニ研究ヲ致シテ居リマス、是ハ既ニ戒嚴令ヲ用ヒマシタコトガ不正十二年ノ大震災ノ時ニモ此ノ戒嚴令ヲ用ヒテ居リマス、又昨年ノ二月二十六日事件ノ時ニモ戒嚴令ガ布カレマシタ、是等ノ實驗等ニ鑑ミマシテ之ヲ改正スルト云フコトニ付キマシテハ目下研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、尙陸軍刑法ニ付キマシテモ只今御話ノ如ク其ノ改正ニ付キマシテ研究ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、此ノ實行ニ付キマシテハ普通刑法ト相竝ビマシテ改正ヲ致シタイト云フ心持ヲ以チマシテ研究ヲ進メテ居ル次第デアリマス

○内田重成君 私ハ其ノ兩點ニ付テ尙詳シク伺ヒタイト考ヘマスルケレドモ餘リ細カク立入ル問題デアリマスルノデ、是ハ今日ハ省略ヲ致シマスルガ、次ニ伺ヒマスノハ只今ノ軍機保護法ハ純粹ナ軍事ノ秘密ノ保護ガ其ノ對象ニ相成ッテ居リマス、廣イ意味ノ國家總動員其ノ他國防上ノ秘密ヲ對象トスルモノデハナイノデアリマシテ、サウ云フ廣イ意味ニ於ケル國家ノ秘密ヲ保護スル意味デ昭和十一年ニ國家總動員秘密

保護法案が議院ニ提出セラレマシテ、當時衆議院ニ於テ審議未了ニ終ッテ居リマス、私ハ此ノ廣イ意味ノ取締法規ガ成立スルニ非ズンバ間諜、所謂「スパイ」ニ對スル取締ハ甚ダ完全ナラザルモノデアルト豫テ思ッテ居ッタノデアリマス、其ノ廣キ意味ニ於ケル國家秘密ノ保護ニ付テノ法規ガ衆議院ニ於ケル審議未了ノ儘デ、其ノ後御提案ニ相成ラナイヤウデアリマスルガ、純軍事秘密ノ保護ト同時ニ、廣キ意味ノ國家秘密ノ保護ニ關スル法規ヲ完成スルニ非ザレバ、今日ノ戰爭狀態ニ於キマシテハ、秘密ノ保護ハ不十分デアルト云フコトハ、是ハ極メテ明瞭ナコトデアラウト思フノデアリマス、ニモ拘ラズ曩ニ即チ十一年ニ御提案ニ相成ッテ儘デ、ソレガ其ノ以後ニ於キマシテ此ノ問題ガ御提案ニ相成リマセヌ其ノ理由ヲ承リタイト存ジマス

○國務大臣(杉山元君) 只今ノ御意見ハ御尤ノコトデアリマシテ、今日ノ戰爭ハ單ニ武力ダゲデアリマセズニ、國ノ全資力ヲ擧ゲテ戰爭ニ從事シナケレバナリマセヌ現狀ニ於キマシテ、廣キ意味ニ於テ、廣キ國防上ノ秘密ヲ保持スルト云フコトハ御意見ノ通りデアリマス、又斯クノ如キ情勢ガアリマスルノデ、各國共諜報機關ヲ擴充致シマシ

テ、國力ヲ調査スルト云フコトニ付テ、非常ニ努力ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、斯ウ云フ見地カラ申シマシテ、廣キ國防上ノ見地ヨリ秘密ヲ取締ラスルト云フコトノ必要ヲ十分ニ感ジテ居ルノデアリマシテ、曩ニ十一年ニ提案ヲ致シタノデアリマスルガ、其ノ後更ニ研究ヲ續ケテ居ルノデアリマスルガ、何分ニモ其ノ及ビマスル範圍ガ廣イノデアリマシテ、未ダ今議會ニ提出スル運ビニ至ラナカッタノデアリマスルガ、成ルベク速カニ此ノ點ニ付キマシテハ御意見ノ如ク防諜ニ付キマシテ提案ヲ致シタイト存ジテ居リマス

○内田重成君 先程私が軍刑法ノ改正等ニ付テ承リマシタノモ、是等廣キ意味ノ秘密保持ニ關スル規定ガ軍事刑法等ノ中ニモ加ルベキモノデナカラウカ、ト云フヤウナ諸種ノ關係ガアリマスルノデ承リマシタノデアリマス、次ニ私ハ只今御示シテ受ケマシタ此ノ陸海軍ノ省令案、此ノ省令案ニ依リマスル軍機物ハ軍機ノ事項ノ方ハ分リマスマイガ、物件ニ關スル文書トカ、圖畫ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、其ノ軍機物デアルト云フコトノ標識ヲ何カナサル、モノデアルカ、ソレカラ此ノ省令ハ軍機保護法ノ第一條ノ内容ヲ大體ニ於テ示サレタルモノ

ト考ヘマスガ、之ニ依ッテ全部ガ極メテ明瞭ニナッタモノトハ私考ヘテ居ラスノデアリマス、唯此ノ位ノ程度デ現スヨリ外ニハ、已ムラ得ナイモノデアルト云フ位ニシカ考ヘテ居ラスノデアリマスルガ、併シ是ガアルト云フコトハ、從來ノ如キ茫漠タル文字デ現サレタルモノヨリカ、大體ノ標準ヲ國民ニ示サル、譯デアリマスルカラ、極メテ適當ナルコトト考ヘルノデアリマス、併シ是ガ單ニ此ノ省令デ官報ニ載セラル、ト云フダケデ、國民ニ周知セシムルト云フコトハ困難デアルト考ヘルノデアリマス、今一層此ノ省令ヲ國民ニ周知セシムルニ付テ、深切ナル方法ハナイモノデアリマセウカ、又ソレガ自ラ國民ノ一般ニ此ノ軍機秘密ニ付テノ要點ヲ承知ラシ、併セテ防諜知識ノ養成、防諜協力ノ要求ニモ叶フ義デアルト思フノデアリマス、單ニ官報ニ省令ヲ一度掲載シタダケデ以テ足レリトスルト云フコトハ、折角斯クノ如ク御用意ニ相成リナガラハ畢竟不深切ニ終ル譯デハナカラウラ是ハ畢竟不深切ニ終ル譯デハナカラウカ、單ニ執法者ノ便宜ニ過ギナイコトニ相成ルデハナカラウカト感ズル譯デアリマスルガ、此ノ點ニ付キマシテハドウ云フ風ニ御取扱ニ相成ル御趣旨ガアリヤナシヤト云フコトヲ承ッテ置キタイト思フノデアリマス

○國務大臣(杉山元君) 御尤ノ御尋ト存ズルノデアリマスルガ、此ノ別表ニ示シテアリマスルノハ省令デ押ヘマスル圖書物件ノ種類範圍ヲ示シタモノデアリマシテ、其ノ内容ハ具體的ニ互ッテ居ルノデ、一々此處ニ書上ゲテナイノデゴザイマスルガ、只今御尋ノ要點デアリマスル單ニ省令ノミヲ以テ満足ヲシテ居ルト云フヤウナコトデハ徹底ヲセズニ、此ノ法ノ實施ガ十分デハナイノデハナイカト云フコトノ御尋デゴザイマスルガ、單ニ省令デ公布ヲ致シマスルダケデナク、新聞、雜誌或ハ「ラヂオ」ト云フヤウナ方法ヲ執リマシテ、普ク國民ニ是ガ徹底スルヤウニ注意ヲ致シテ居リマス

○内田重成君 先程モウ一點御尋ヲ致シマシタ機密ノ文書、圖畫其ノ他ノ物件ニ付キマシテ、軍機物タルコトノ何等カノ御表示ガアリマスカドウカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(杉山元君) ソレニ付キマシテハ標識ヲ付ケルヤウニナッテ居リマス、圖書ニモ物件ニモソレト「軍事機密」ニ屬スルト云フ事柄ヲ明カニスル標識ヲ付ケマシテ、誰ガ見テモ分ルヤウニ致スコトニ考ヘテ居リマス、斯ク致シマスル上ニ、省令ヲ以テ之ヲ公布ラシ、新聞、雜誌、「ラヂオ」等ヲ

以テ普ク徹底ヲ致サセタイト存ズルノデア
リマス

○内田重成君 モウ一點伺ヒタイノデゴザ
イマス、是ハ筆記ヲオ取り下サツテモ宜シ
ウゴザイマスガ、防諜ニ關シマスル經費ト
云フモノハ是ガ外國ノ例等ヲ見マスレバ
相當多額ニ使ッテ居ルヤウデアリマス、我ガ
國ニ於キマシテモ所謂「スパイ」等ニ對シマ
スル探偵其ノ他ノ防諜ノ經費デアリマスガ、
是ガ若シ不十分デアリマシタラ目的ハ達セ
ラレナイ、デ此ノ經費ハ單リ陸軍バカリデ
ナク、又海軍バカリデナク、其ノ他内務ニ
モ多大ナル關係ヲ持ツノデアリマス、一般
警察費ノ中、憲兵費ノ中ニモ入ッテ居ルノ
デアラウト考ヘマスルガ、凡ソ區分ラシテ、
防諜ニ關スル經費トシテ、各省ノ分ヲ合
セテドノ位ノ經費ガ使ハレテ居ルノデア
カト云フコトニ付キマシテ伺フコトガ出來
マスレバ仕合セト考ヘマス

○國務大臣(杉山元君) 只今ノ御尋ノ防諜
ニ付キマシテハ、單ニ陸軍ノ憲兵ダケデナ
ク、警察其ノ他之ニ關係ヲ持ッテ居ル諸官廳
ニ付キマシテ防諜ニ努力ヲ致シテ居リマシ
テ、相當ノ金額ヲ之ニ充當シテ居ルノデア
リマス、併シナガラ現下ノ情勢カラ考ヘマ
スルト、殊ニ……速記ヲ止メテ戴キタイ

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ始メ
テ……………

○内田重成君 是ハ政府委員カラ御答ヲ受
ケマシテ結構デゴザイマス、問題ハチト細
カウゴザイマス、現行法デハ軍事上ノ祕密
タルコトヲ知ッテ云フ文字ガアリマシタ
ガ、之ヲ態々削ラレタノデアリマス、アレハ
現行ノ軍機保護法ヲ作リマス時ニモ相當刑
法トノ睨ミ合ノコトハ研究ノ上ニアノ文字
ヲ加ヘタノデアルト云フコトヲ承ッテ居ル
ノデアリマス、私モサウデアルト思フ、單
ニ故意ト云フダケノ文字デハ刑法ノ關係デ
ハイケナカッタノデアリマス、アノ軍事上ノ
祕密タルコトヲ知ルト云フ文字ガ大切ナ文
字ノヤウニ從來解釋ラシテ居ッタノデア
リマス、デ此ノ點ニ付キマシテ前ノ委員會等
ノ速記録等ヲ調べテ見マスルト、ドウモ
ハッキリシテ居リマセヌガ、一應唯簡單デ宜
シウゴザイマス、アレデアノ文字ヲ削ルニ
至リマシタ理由、ア、云フ文字ガ現行法ニ
アル、當時モ既ニ刑法ト云フモノハ立派ニ
出來テ居ル、其ノ刑法ノ故意論ト云フモノ、
犯意論ト云フモノハ相當研究サル、時代デ
アツタ、其ノ時代ニ出來タ法律ニアノ文字ガ

入ッテ居ル、ソレヲ今度削ルト云フコトニ付
テハ、相當矢張り研究サレタコトト思ヒマ
ス、一應其ノ經過ヲ一ツ承リタイ

○政府委員(加藤久米四郎君) 私カラ一應

御答ヲ致シマシテ、尙足ラザル所ハ司法省
ノ政府委員カラ申上ゲマシタ方ガ完全デア
ルト存ジマシテ、私ノ申上ゲルコトヲ一應
御聽取願ヒタイト思ヒマス、故意行爲ノ問
題ニ付キマシテハ今内田サンノ仰セラレタ
通りデアリマス、併シ軍機保護法ノ法ノ適
用ノ範圍ガ非常ニ廣範ニ互リマシテ、從
民衆ノ利害ニモ餘程重大ナル關係ヲ持ッテ居
リマスルノデ、知ラズ識ラズノ間ニ此ノ法
律ニ規定シテアル事柄ヲ犯シテ居ルコトモ
アリ得ヨウカトモ存ジマス、殊ニ省令ニ於
テ具體的ニ列舉シテ居リマスルノデ、旁々致
シマシテ舊法ノヤウニ故意ト云フコトヲ明
記セズトモ、大體之デ以テ目的ヲ達シ得ヨ
ウト考ヘタト私ハ存ジテ居リマス、唯法ノ
適用ノ對象物民衆ノ方ニ於キマシテ、知ラ
ズ識ラズノ間ニ法ヲ犯シテ居ルコトガ多
ト思ヒマス、ソレデ法ノ建前ト致シマシテ
ハ、刑法ノ總則ニ依ッテ先ヅサウ云フモノハ
罰シナイ方ガ宜カラウカト云フ建前ト私ハ
承知致シマス、尙詳細ノコトハ司法省ノ政
府委員カラ……

○説明員(佐藤藤佐君) 司法省ノ政府委員

ガ他ノ委員會デ差支ヘガゴザイマスノデ、私
カラ御説明申上ゲマス、現在ノ軍機保護法
ノ制定サレマシタ當時ハ、舊刑法ガ行ハレ
テ居ッタノデアリマスガ、現在ノ刑法ニ於キ
マシテハ、總則デ故意ノナイモノハ罰シナ
イ、特ニ故意ガナイ場合デモ罰スルト云フ
特別ナ規定ノアル場合ニ限ッテ、故意ノナイ
場合ヲ罰スルンダト云フコトガ總則デ定メ
ラレテ居リマスノデ、現行刑法ノ下ニ於キ
マシテ各特別法ガ制定サレマス時ニハ、
必ズ特段ノ規定ガナケレバ刑法總則ニ
依ッテ故意ノアル時ダケヲ罰シテ故意ガナ
ケレバ罰シナイト云フ建前ニナッテ居リマ
スノデ、現行刑法ノ下ニ於テ軍機保護法ガ
改正セラレマス今日ニ於テハ、矢張り刑法
ノ總則ニ則ッテ、特ニ罪ヲ犯ス意思ガアツ
ヤルト云フコトヲ明示シナクトモ、軍事上
ノ祕密タルコトヲ知ッテ犯ス場合ダケヲ罰
スルノダト云フ趣旨ガ當然分ルデアラウト
云フヤウナ解釋ノ下ニ、古イ形ノ知リテト
云フ言葉ヲ削ッタノデアリマス、外ノ特別法
ニ於キマシテモ、特ニ何々知リテト云フ
コトヲ、特ニ書カナクトモ、解釋運用トシ
テハ故意犯ダケヲ罰スルト云フ風ニ一般ニ
解釋適用サレテ居リマス、其ノ點ハ現行軍

機保護法ノ解釋適用ト同ジヤウニナルモノト云フ風ニ解釋シテ居リマス

○内田重成君 私ハ只今ノ質問ニ對スル御答ハ能ク諒解ヲ致シ得マセヌケレドモ、此ノ問題ヲ只今又此處デ論ジテ居リマスト長クナリマス、デ能ク私自身ニ研究ヲ致シマス、之デ私ノ質問ハ終リマシタ

○委員長(伯爵溝口直亮君) 他ニ御質問ガゴザイマスレバ、此ノ際……

○織田萬君 本案ハ前議會ノ委員會デ仔細ニ審議サレタノデアリマシテ、今更改メテ質問致シタイト云フ程ノモノモゴザイマセヌ、即決サレテモ然ルベキカト思フノデアリマスガ、唯一點御再考ヲ願フ方ガ宜クハナイカト思フノガアリマス、ソレニ付テ尙改メテ政府ノ御意見モ伺ヒタイト思フノデアリマス、ソレハ第一條第二項ノ修正デアリマシテ、塚本君カラ此ノ「軍事上祕密ヲ要スル事項又ハ圖書物件」ノ種類、範圍ニ關スル規定ヲ、案デハ陸海軍省令ニ委任シテアルノヲ勅令ニ委任シタイト云フ動議ガ出マシテ、ソレガ不幸ニシテ否決サレタヤウデアリマシテ、私ハ他ノ委員ヲ兼ねテ居リマシタ關係上殘念ナガラ此ノ最後ノ會議ニ列席スルコトガ出來ナク、從ッテ十分卑見ヲ述ベルコトモ出來ナカッタノデアリマス

ガ、申ス迄モナク臣民ノ權利、自由ニ關スル重要ナル事項ヲ法律ガ命令ニ委任スル場合ニハ、命令ノ第一位ニアル勅令ヲ以テスベキデアルト云フコトハ、是ハ憲法ノ精神上サウナクテハナラヌト思フノデアリマス、又本案ノ委任事項ハ陸海軍雙方ニ共通シタモノガ多カラウト思ヒマス上カラ、省令ヲ以テ定ムルヨリハ勅令ヲ以テ定ムルト云フコトガ立法技術ノ上カラモ當然ノコトト思ヒマス、唯手續トシテハ申ス迄モナク勅令ハ閣議ヲ經テ其ノ案ガ定マリ、省令ハ必ズシモ閣議ニ付スルコトヲ要セヌノデアリマスルガ、併シ内閣官制ノ規定カラ考ヘテ見マシテモ高等政策ニ屬シ、事態ノ稍、重イモノハ閣議ニ付スルト云フヤウナコトニナッテ居リマスルカラ、事實ハ省令ヲ以テ定メテモ矢張り閣議ニ付スルト云フコトニナリハシナイカト思フノデアリマス、サウスレバ實際ノ便、不便ト云フコトハ手續ノ上カラ大シタ問題デハナカラウト思フノデアリマス、サウスレバ矢張り憲法ノ精神ニ從ッテ、省令ニ委任スルヨリハ勅令ニ委任スルト云フコトニナラナケレバナラヌノデアリマシテ、其ノ趣意ハ前議會ノ委員會ニ於テモ私ハ大體述べテ置イタノデアリマス、唯政府委員ニ、何故ニ省令デナケレバナラヌカト云フコトヲ……、

サウスデ、法制局長官ガ丁度御見エニナリマシテ、法制局長官ニ御尋ラシマシタ處ガ、是等ノ事項ハ陸海軍大臣デナケレバ殆ド知ラナイコトダカラシテ、ソレハ省令ヲ以テ定ムル方ガ宜イト云フヤウナ意味ノ答辯デアリマシテ、實ハ私ハ之ニ對シテハ啞然タラザルヲ得ナカッタノデアリマス、サウスル中ニ散會ニナリマシタカラ、私ハ重ネテ質問スルト云フコトヲヨウシナカッタノデアリマスガ、若シ法制局長官ノ言フガ如クムバ、總テノ行政ハ皆「テクニク」デアリマス、專門デアリマス、所管大臣ノ外ハ、極端ニ言ヘバ分ラナイト言ッテモ宜イカモ知レナイ、サウスレバ各種ノ行政ニ關スルコトハ法律ヲ以テ定ムルノモ間違デスシ、勅令ヲ以テ定ムルノモ無論イケナイ、總テ省令ヲ以テ定ムル外ナイト云フヤウナ結論ニ達シテシマハナケレバナラナイ、斯ウ云フヤウナ考ヲ持ッテ居ラレル人ガ、法制局長官トシテ立法事項ノ統一ヲ圖ラレルト云フノダカラドウモ兎角近來ハ甚ダ杜撰ナ法令ガ出ルト云フコトニナッテ居ヤセヌカト私ハ思フノデアアル、ソレハ別問題ト致シマシテ、要スルニ憲法ノ精神ノ上カラハ勅令ニ委任スル方ガ適當デアラウト思ヒマス、無論是ハ唯形式ノ論デアアル、勅令ニスルカ省

令ニスルカト云フコトハ、一片ノ形式ニ過ギナイヤウデアリマスガ、其ノ形式ハ憲法ノ精神カラ考ヘルト極メテ重大ナモノデアアル、ソレヲ殊ニ立法機關ノ一部ヲ司ッテ居ル貴族院ガ、唯ソレヲ簡單ニ看過スルト云フコトハ、貴族院ノ職責カラ見テモドウカト思フ位ノ問題デアルト私ハ思フノデアアル、サウ云フ意味ニ於テ願クハ塚本君ノ動議ノ通りニ、此ノ第一條第二項ヲ修正スルコトニシテ戴キタイト私ハ切望スルノデアリマスルガ、當局ニ於テ勅令ニ委任スルト云フコトハ宜シクナイ、或ハ宜シクナイト迄言ハズトモ不都合デアルト云フヤウナ、何カ勅令ニ委任スルト云フコトニ反對ノ御意見ガアリマシタナラバ、ソレヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(加藤久米四郎君) 私カラ一應御説明申上ゲタイト思ヒマス、此ノ第一條ノ二項ニ規定致シテ居リマスル祕密ノ保護ハ省令デ定メマスル、其ノ理由ハ少々詳細ニ申上ゲマシタ方ガ御理解ニ御便利カト存ジマス、ソレハ勿論一般祕密ニ關スル事デハゴザイマセヌカラ、陸海軍ノ軍事上ノ祕密ノ事項及其ノ圖書物件ト云フコトニ限ラレテ居ルノデアリマスルカラ、此處ヲ一ツ御諒解ヲシテ戴キタイトデアリマス、陸海

軍ノ兩大臣ガ秘密ノ事項ダト定メタコトニ依ッテ、軍ノ秘密ニナルノデハゴザイマセヌノデ、性質上秘密ニ屬スルモノデアルノデアリマス、之ヲ少シク法律的ノ言葉デ申上ゲマス、所謂總説的ノモノデナクシテ本來秘密デアルモノヲ、此處ニ列舉シタト云フコトニ過ギナイノデアリマシテ、事柄ガ陸海軍大臣ガ勝手氣儘ニ定メタラ總テ秘密ニナルト云フ意味デハナイノデアリマス、其ノ根柢ガ矢張り軍事上ノ秘密ト云フコトニ限ラレテ居ルノデアリマシテ、統帥事項ニ密接ナル關係ヲ有スル事柄トシテ、此處ニ別表ニ差上ゲテアル通りニ限ラレテアルノデアリマシテ、省令デアルカラ自由ニ陸海軍大臣ニ於テ、之ヲ定メルト云フ意味デハ絕對ゴザイマセヌ、ソレヲ一ツ諒解シテ第一戴キマシテ、ソレカラ其ノ次ヲ申上ゲタラバ御諒解ニ御便宜カト思ヒマス、軍事上ノ秘密ハ統帥上ノ要求カラ定ルモノデアリマシテ、軍獨自ノ見地ニ於テ其ノ種類範圍ヲ定ムルコトガ先ヅ適當デアルト存ジマス、且必要デアルト存ジマス、之ヲ法律若シクハ勅令ヲ以テ定ムルコトニ致シマスルシテ……立至ルコトニナルト存ジマシテ、且軍事上ノ秘密ハ新タニ今申上ゲマシタヤ

ウニ定メルベキモノデナクシテ、秘密デアルカラ之ヲ公示スルニ止ルモノデアリマス、法律又ハ勅令ニ依ッテ之ヲ決メマスルコト云フトドウモソレノ手續ガゴザイマシテ、統帥ノ事項ニ關シマスルカラ非常ニ平戰兩時ニ互ッテ咄嗟ノ間ニ事ヲ決メナケレバナラヌ事柄モアルコトハ大體御諒解ヲ戴キタイト存ジマス、サウ云フヤウナ事情デアリマスルカラ第一條ノ第二項ニ於テ省令ヲ以テ定メルト致シタノハ實際上ノ必要カラ生ジタノデゴザイマシテ一般立法ノ理論、技術上ノ理論カラ申上ゲマスルヨリモ本法制定ノ理由ガ軍ノ秘密ヲ保護スルト云フ又特殊ノ理由ノアルコトヲ諒解シテ戴キタイノデアリマス、斯様ナ次第デゴザイマシテ此ノ軍事上ノ秘密ヲ、爲シ得レバ……出來ルコトデアリマスナラバ其ノ範圍種類等ハ之ヲ隱シテ置クノガ必要デアリ、便利デアル所デアリマスルケレドモ、斯クテハ民衆ニ對シ、法ノ適用ヲ受クル人々ニ對シテ至極迷惑デアルト云フコトヲ考ヘマシテ其ノ種類範圍別表ニ差上ゲマシタヤウニ公示シテ置クコトニ致シマシタ方ガ一番適當デアルト存ジタノデアリマス、デ法律ニ規定致シマスル場合ニハ御質問ノ御趣旨ノ中ニハナカッタヤウデアリマスケレドモ、

當然ニ其ノ内容ニ立入リマスルシ、勅令デアリマスルト法律ノ如ク立入ラヌヤウデモアリマスルケレドモ、又咄嗟ノ間ニ臨機ノ處置ヲ要シ、或ハ又軍ノ機密ヲ特ニ極秘トシテ取扱フ場合ニモ或ハ如何デアラウト存ジマス、實際ノ事ヲ申上ゲマスルト軍ニ於キマシテハ軍ノ機密デアルカラ、或ハ秘密デアルカラト致シマシテ陸海軍兩省、或ハ其ノ他統帥部ニ居リマス者デモ其ノ事柄ヲ全部ノ者ガ能ク承知致シテ居ルト云フ一般のニハ參ラヌノデアリマシテ、必要デアル其ノ少數ノ範圍ノ人ダケ承知致シテ居リマシテ機ヲ列ベテ居リマシテモ實ハ之ヲ承知シナイヤウナ事柄モアリ得ルノデアリマシテ、ソレガ秘密ヲ保護シ、サウシテ迅速ヲ尊ビ咄嗟ノ間ニ起リマシタ事柄ヲ處置スル上ニ於テ必要デアリマスル其ノ實際ヲ能ク御諒解ヲ願ヒタイノデアリマス、サウ云フ次第デアリマシテ是ハマア斯ウ云フ取扱ヲサセタノデアリマスカラドウゾ御諒解ヲ願ヒマス

○織田萬君 重ネテ伺ヒマスガ、私モ第一條第二項ニ依ル委任命令ニ依ッテ軍事上ノ機密ガ決ルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセヌ、其ノ文字ノ示ス通りニ單ニ種類、範圍ヲ決メルニ過ギナイノデアリマス、而シテ其ノ種類、範圍ニ關スルモノガ統帥事項ニ關係ノアルト云フコトモ全部デアリマスマイ、此ノ省令案ヲ見マシテモ作戰又ハ用兵ニ關スル事項、出師準備ニ關スル事項、軍備ニ關スル事項ト云フヤウナコトハ、無論是ハ統帥事項ニ關係ノアルト云フコトハ言フヲ俟タナイコトデアリマスルガ、併シ統帥事項其ノモノデナイト云フコトハ明カデアリマス、統帥事項デアラナラバ、省令ヲ以テ規定スルト云フコトガ既ニ間違ッテ居ルノデアリマス、統帥事項ハ全ク政治以外ニアルモノデアル、省令ヲ以テ規定スルト云フコトハ既ニ統帥事項ヲ離レテ、假令統帥事項ト關係ガアツテモ、ソレハ政治事項デアルト云フガ爲ニ省令ヲ以テ規定スルノデアリマス、苟モ政治事項デアラナラバ、陸海軍大臣以外ノ各國務大臣ハ均シクソレヲ知ッテ居ナケレバナラヌノデアリマス、又其ノ自體ノ上カラシテ之ヲ閣議ニカケテ勅令ヲ以テ定メルト云フコトガ常識カラ考ヘテモ當然ノコトデハナイカト思フノデアリマス、無論中ニハ緊急ヲ要スル事項モアリマセウシ、或ハ中ニハ時ト場合ニ依ッテ此ノ軍事ノ秘密ニ屬スル種類又ハ範圍ニ入レナケレバナラヌモノモアリマセウ、サウ云フモノハ更ニ勅令ガ復委任ヲ

シテ陸海軍大臣ガ省令ヲ以テ定メルト云フコトニシテ置ケバ少シモ不便ハナイ譯デアリマス、又省令ノ案ニ掲ゲラレテアルモノヲ見マシテモ、何等是ハ勅令ヲ以テ規定スルニ少シモ不都合ガナイノミナラズ、寧ロ大體ノコトデアッテ、勅令ヲ以テ定ムルノガ當然ノコトデアルト私ハ考ヘル位デ、只今ノ政府委員ノ御説明ハ私ニハ甚ダ其ノ意ヲ得ナイノデアリマスガ、併シ此處デ私ハ討論ヲスル考ハゴザイマセヌ、從ッテ私ノ意見ニ對シテ政府委員ヨリ重ネテ御答辯ヲ願フ必要モナイノデアリマス、唯私ノ考ダケヲ茲ニ述ベテ置キマス

○政府委員(豊田副武君) チョット軍政ノ關係事項ニ付テノ陸海軍大臣ノ立場ニ付テ御理解ガナイノデハナイカト云フ風ノ疑ガ起リマシタノデ申上ゲマス、現在陸海軍大臣ハ軍ノ統帥ニ關スル命令ヲ出シテ居リマス、ソレカラ統帥其ノモノデモ其ノ中ニ行政ノ實質ガ相當入ッタモノモザイゴマスガ、サウ云フモノハ陸海軍大臣ノ命令ヲ以テ部内ニ下達ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、此ノ點ハ陸海軍大臣ガ特殊ノ權限ヲ持ッテ居ルト云フコトハ内閣官制ノ第七條デゴザイマスカ、「軍機軍令ニ關スルモノハ」云々ト云フ規定ガゴザイマスノデ、此ノ

陸海軍大臣ガ此ノ法律ニ附隨致シマシタ軍機ノ内容ヲ、軍事上ノ祕密ノ内容ヲ省令デ陸海軍大臣ガ命令シ得ルナラバ他ノ大臣ノ審議ニ付スベキ勅令デ出來ナイコトハナイト云フコトハ是ハ申セナイト存ジマスカラ、其ノ點ノ誤解ノナイヤウニ御願ヒ申上ゲマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 他ニ御質問ゴザイマセヌカ、御質問ガナケレバ直チニ討論ニ入りタイト存ジマスガ宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵溝口直亮君) 先ヅ別々ニ致シマシテ先ニ兵役法中改正法律案、本案ハ政府提出ノ原案ヲ其ノ儘可決シテ御異議ゴザイマセヌカ

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ是ハ可決ト云フコトニ決定致シマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 次ニ軍機保護法改正法律案政府ノ原案

○織田萬君 私ハ只今申シマシタ……申述べマシタ理由ニ依リマシテ前回ノ委員會ニ於テ塚本君カラ提出サレタ動議ト同ジ動議ヲ茲ニ提出致シマシテ本案第一條第二項ノ規定ノ終ヒノ所デアリマスガ、「陸軍大臣又ハ海軍大臣命令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスノ

ヲ「勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトニ修正致シタイト思ヒマス、修正致シタイト動議ヲ提出致シマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 只今織田君カラ修正意見ガ出マシタ、是ハ第一條第二項「陸軍大臣又ハ海軍大臣命令」ト云フ文字ヲ「勅令」サウ修正シタイト云フ御意見デゴザイマスカ

○織田萬君 左様デゴザイマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 其ノ御意見ガ出マシタ、是カラ決ヲ採リタイト思ヒマス

○三井清一郎君 採決前ニ此ノ修正案ガ出マシタガ前回ニ於テ塚本君ガ修正案ヲ出シマシタガ、其ノ修正案ガ少數デ否決ニナツタ場合ニハ、軍機保護法全體ニ付テ全會一致ノ意味デ塚本君モ前ノ修正ヲ投ゲ棄テ、贊成ニナツタ、ドウゾ此ノ保護法ニ付テ是非委員會全會一致ヲ以テ御決議アラムコトヲ切望致シマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 只今織田君カラシテ修正意見ガ出マシタ、之ニ御贊成ノ方ノ起立ヲ求メマス

(起立者少數)

○委員長(伯爵溝口直亮君) 少數ト認メマス、本案全部ヲ議題ト致シマシテ、本案ハ政府提出ノ通りデ御異議ゴザイマセヌカ

○委員長(伯爵溝口直亮君) 御異議ナイモノト認メマス、本案ハ原案通り可決致シマス、之ニテ本委員會ヲ閉ヂマス

午前十一時十三分散會
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵溝口 直亮君
副委員長 男爵淺田 良逸君

委員 公爵鷹司 信輔君

子爵立花 種忠君

子爵谷 儀一君

子爵井上 勝純君

織田 萬君

三井清一郎君

内田 重成君

男爵渡邊 汀君

男爵園田 武彦君

丸山 鶴吉君

大塚 惟精君

松本 眞平君

光永 星郎君

金成 通君

水野甚次郎君

國務大臣

陸軍大臣 杉山 元君

政府委員

陸軍政務次官 加藤久米四郎君

海軍中將 豐田 副武君

司法省刑事局長 松阪 廣政君

説明員

司法書記官 佐藤 藤佐君

昭和十二年七月二十九日印刷

昭和十二年七月三十日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局